

招 へ い 研 究 者 報 告 書

招へい研究者氏名	シドニー大学 (オーストラリア)・Timothy Amos (ティモシー・エイモス)			
招へい期間	(西暦) 2025年12月1日～ 2025年12月20日			
受入機関	社会学部			
受入担当者	所属	社会学部	資格	教授
	氏名	内田 龍史		

講演会実績

(本欄は国際部 HP にて公開します)

○研究者向け講演会タイトル：解放の再構想 - 被差別部落をめぐる歴史的固定性の問題を中心に  
○日時：2025年12月5日(金) (13:00～14:30)

○概要：戦後の学術・社会運動の中心概念であった「部落解放」をめぐり、達成済みとみる立場と未達成とする立場が鋭く対立していた状況を取り上げた。その対立は、存在論・認識論・解釈学上の理論的差異にとどまらず、草の根運動との距離、解放戦略をめぐる政治的確執、差別経験の多様性や解放像の相違など複数の要因によって深まり、統一的ヴィジョンの構築はきわめて困難であったことを論じた。

○学生向け講演会タイトル：海外の部落問題研究 - 歴史学者の視点から見た動向 -

○日時：2025年12月11日(木) (14:40～16:10)

○概要：近世、近代および現代の被差別民・被差別部落問題に関する英語圏の研究を簡潔に紹介した。その歴史的傾向を指摘しつつ、最近の被差別部落に関連する研究の中で見られるいくつかのトレンドについて、日本語の先行研究との比較や報告者自身の研究との関連において、解説と問題提起を試みた。